

1 挨拶

出水市病院事業管理者…………… 1

出水総合医療センター院長…………… 2



出水市病院事業管理者 鮫島 幸二（小児科医師）

令和7年度版の病院年報ができましたので御挨拶申し上げます。

この年報には、令和6年度の実績と令和7年度の診療体制などがまとめられています。

出水総合医療センターは、米ノ津町立米ノ津医院として開設され、創設100周年を迎えました。本年3月に関係者多数御臨席の下記念式典を行い、これまで長く当院を支えてくださった医療関係者、行政の方々、市民の皆様にご感謝するとともに、101年目となる今年度も変わらず出水地域の医療に貢献できるよう、職員一同気持ちを新たにいたしました。

令和6年度は、令和元年以来の本来の病院運営となりました。令和2年度から令和5年度までは新型コロナウイルス感染症に対する病床確保事業等が関係し、病院経常収支としては黒字を計上できました。

しかし、令和6年6月に行われた微増の診療報酬改定に対し、人件費や医療材料費、光熱費、委託事業費など病院運営に必要な諸経費が軒並み上昇しましたので、経常収支は赤字となりました。この状況は年度当初から予想されていたので、様々な分野で職員一丸となって経費削減に取り組んでまいりましたが、予想以上に経費が増大し大幅な赤字となりました。

さらに、今後も諸物価の低減は期待できず、必要経費の上昇が続けば病院収支は厳しい状況が続くことが予想されます。出水地域は他の地方都市と同様にじわじわと人口減少や高齢化が進んでいます。これにより、出水地域で必要とされる医療にも当然変化がでてきています。当院だけでは医師不足などにより十分な医療を提供できない分野もありますので、このことも十分考慮した上で、他の医療機関との連携をさらに強化し、総合的に地域に必要な医療が提供できるよう努めてまいります。

引き続き出水総合医療センターへの御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

出水総合医療センター 院長 花田 法久（外科医師）



令和7年度の年報発刊に当たり、御挨拶申し上げます。

令和6年度は当院創立100周年の記念すべき年になりました。

出水郡医師会の先生方との「連携医の会」を初めてホテルで開催しました。

市民向けの「記念講演会」はシンガーと現役医師の二刀流・インスハートを招いて温かい空気を味わうことができました。

職員向けの「記念忘年会」は200人を超える参加者で大いに盛り上がりました。

最後は来賓をお招きした「記念式典・祝賀会」を開催しました。これまでの100年のお礼を述べる機会を与えていただき、本当に充実した1年を送ることができました。

過去・現在を顧み、未来の姿を模索する1年になりました。

NHK開局100年を記念して放送された「新プロジェクトX 未来を切り開く挑戦者たち」を視聴しての感想。

燃え落ちてしまった首里城。現在復元作業中です。以前再建に関わった熟練職人が、若い職人を指導し、伝統を受け継いでいく姿。若い人は仕事にワクワクし、責任も感じる。伝統の継承、そんな姿は、今の若い人に見てほしいシーンでした。仕事はワクワクするものです。大切な伝統を引き継ぐには、不器用な人が重要、器用でない方がいい。積み上げていく、伝統を引き継いでいく、不器用な私・あなたに活躍の場があるのです。

ソニーAIBOの製造中止からの復活劇。AIが発達したこの時代、人に寄り添う犬型ロボットの創出。自由かつつにして愉快なる理想工場の建設、創業者井深大から受け継がれる物づくりの原点。AIBOは復活する必然性があった。AIBOの進化、そこにはSONYのDNAがある。仕事が楽しい、ワクワクする。楽しい商品。リーダーの「責任取るからやりなさい」。完成したAIBOは、佐賀大小児病棟で子供に寄り添い、患者を癒す治療の一環になっていた。病院でプロとして働く私たちは、AIBOの上をいかなければならない。

「やる前からダメだと飽きられる奴が一番つまらん」南極探検隊、西堀榮三郎の言葉。原田尚美さんは女性初めての南極観測隊隊長。モットーは、とにかく楽しむ、仕事って楽しい。音が全くしない、無音の感動。笑う。若い人たちにも見てもらいたい。ついてこいのリーダーではない、裏方、目配りが仕事。現代のリーダー像がそこにあると思います。

自分の生活を犠牲にして偉業を成し遂げてきた、昭和の「傷だらけの美談」から、今後は傷つかずに仕事を成し遂げる方法を考えなければなりません。「ワークライフバランス」のバランスをとる必要はあるが、とことん追い込むことも時には必要と言いたい。

新プロジェクトXには現代の組織、社会へのメッセージが詰め込まれていました。

「困った人に寄り添う病院」「正義より上を目指す=Justice より Fairness」。現在と101年目を迎えた当院のスローガンとしたい。

